

河川防災ステーションの整備

まちづくり



① 施策概要

河川防災ステーションは、出水時には水防活動の拠点となり、地震時には避難場所、あるいは、支援活動の拠点や物資輸送の基地、ヘリポートとして活用でき、災害が発生した場合には迅速な復旧を行う基地となります。平常時はレクリエーション空間、コミュニティスペース等として多目的に活用できます。こうした河川防災ステーションを地方自治体と連携をして整備します。

② 事例

■吉野川（徳島県石井町防災ステーション）



平常時における利用状況



桜つつみモデル事業

まちづくり



① 施策概要

河川の堤防を広げるとともに桜等の並木をつくり、地域住民にやすらぎある水辺空間の整備を行います。河川管理者が堤防を広げ、市町村が植樹や水辺空間に親しむことができる施設などの整備を行います。

③ 事例

■信濃川（新潟県）



■筑後川（福岡県）



② 制度の仕組み

モデル事業の申請（河川管理者及び市町村長）

モデル事業の認定（国土交通省河川局長）

モデル事業の実施（河川管理者及び市町村長）

水辺空間の保全・活用

●イメージ

